

無理解や偏見によるいじめ防止の徹底

令和4年、文部科学省は生徒指導の指針となる「生徒指導提要」を改定し、性的マイノリティ、すなわち性的少数者に関する課題と対応を新たに加えました。

東京都教育委員会は、「人権教育プログラム」において、性的マイノリティに関する対応を人権教育の重要課題の一つに据え、授業の展開例や指導資料を掲載しています。

現在、各学校では、社会科の基本的な人権に関する学習や保健体育科の性に関する学習を中心として、性的マイノリティへの理解を深めるとともに、道徳科において差別やいじめを許さない心を養っています。

性的マイノリティの方に対する偏見や差別、いじめは人権問題です。まず教師自身が理解を深めるとともに、心ない言動を慎むことはもとより、現象の裏に潜む可能性を想像できる人権感覚を身に付けていくことが必要です。その上で、児童・生徒の性的マイノリティに関する理解促進を図るとともに、道徳教育をより一層充実させることで、無理解や偏見等によるいじめの防止の徹底を図りましょう。

次号から、教師と児童・生徒が多様な性の理解に必要な基本事項を連載します。



ひらめき

生化学者・細菌学者 ルイ・パスツール

ひらめきは、それを得ようと
長い間、準備し、苦心した者だけに与えられる。

出典：「賢人たちに学ぶ 自分を磨く言葉」 本田季伸著（かんき出版）

※ ひらめきは偶然に得られるものではなく、真剣かつ継続的な思考の産物であることを教えてくれる言葉です。